

前回(12月16日付)は、全長約3キロの「九州自然歩道」で、大分県の羅漢寺から木ノ子地区(同県中津市耶馬渓町)までの歩き旅でした。今月は、耶馬渓町をすんずん進みます。

その前に、前回の記事について。同市本耶馬渓町の「道祖原」を「さいの」と紹介しましたが、読者の方からお便りをいただき、「さいのはる」と読むのが正しいことを教えていただきまし。ありがとうございます。誤解を招く表現で、ご迷惑をお

木ノ子—山移

掛けしました。

さて、木ノ子からは車道が続きます。車の通りは少なく、のんびりと歩けます。時折見られる看板で、木ノ子から1・1キロ、2・6キロと分かりやすく距離が記載されています。2・7キロ付近にある辺り地区の雑木林では、シイタケ栽培の原木が並ぶのを見かけ、大分県だなあと感

鼻操峠越え、神社で野宿

じで車道に出て一安心。

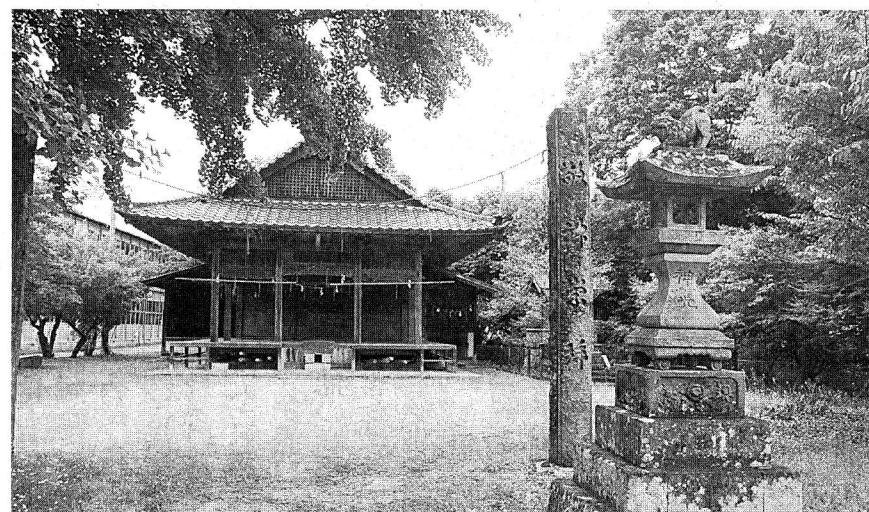
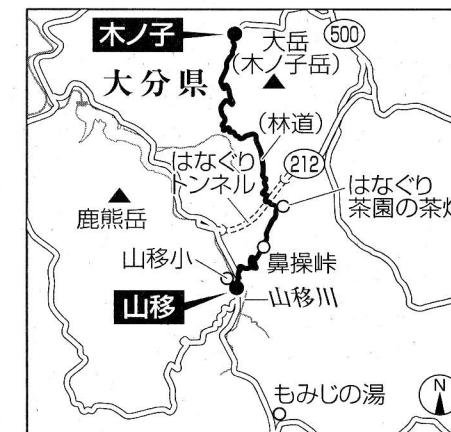
そして、農事組合法人「はなぐり茶園」(耶馬渓町山移)の茶畠に到着。1972年、丘陵地を開墾して始まり、「耶馬渓茶」を生産しています。ところが、近年は茶農家の高齢化などで担い手不足が深刻化。茶園

とができました。感謝、感謝です。

今回は、木ノ子から山移まで約8キロ、4時間の旅でした。次回は八久保山(515m)を越えて、道の駅「童話の里くす」(玖珠町)を目指します。(九州自然歩道フォーラム会員)

あるこ！九州自然歩道の旅⑨

福島 優



上 山移から見える山移の集落
下 山移にある御祖(みおや)神社。
トントンテントを張りました

た牛の放牧に取り組み、活路を探しているそうです。茶畠を過ぎ、舗装路を歩き700mほどでやぶ道の入り口に着きます。そこから進み鼻操峠を通ります。やぶが生い茂って分かりづらいため、迷わないよう慎重に進みます。約600mで舗装路に出で、さらに1・2キロほどで、山移小学校に到着!

今回はこの辺りで野宿しようと思いましたが、近くでバスが停車。地図を見ると「少し先に温泉街が!」。運転手さんに運行時刻などを聞くと、1時間ほど温泉に入れそうです。ならばと、バスに乗って中津市市営「深耶馬温泉館もみじの湯」(同町深耶馬)へ。掛け流し100%の温泉です。ほっこりしました。帰りも同じ運転手さんで、山移まで戻りました。

集落でテントを張る場所を探していると地元の方が話しかけてくれたり、ドーナツをくれたり。翌日は雨の予報だったので、屋根がある場所を探していました。「神社に泊まるといいよ」と教えてもらい、さらに水道・トイレも使えるとのこと。神社を管理している方に許可をいただき、無事テントを張ることできました。感謝、感謝です。

今回、木ノ子から山移までの約8キロ、4時間の旅でした。次回は八久保山(515m)を越えて、道の駅「童話の里くす」(玖珠町)を目指します。(九州自然歩道フォーラム会員)